

# 第30回天草環境会議

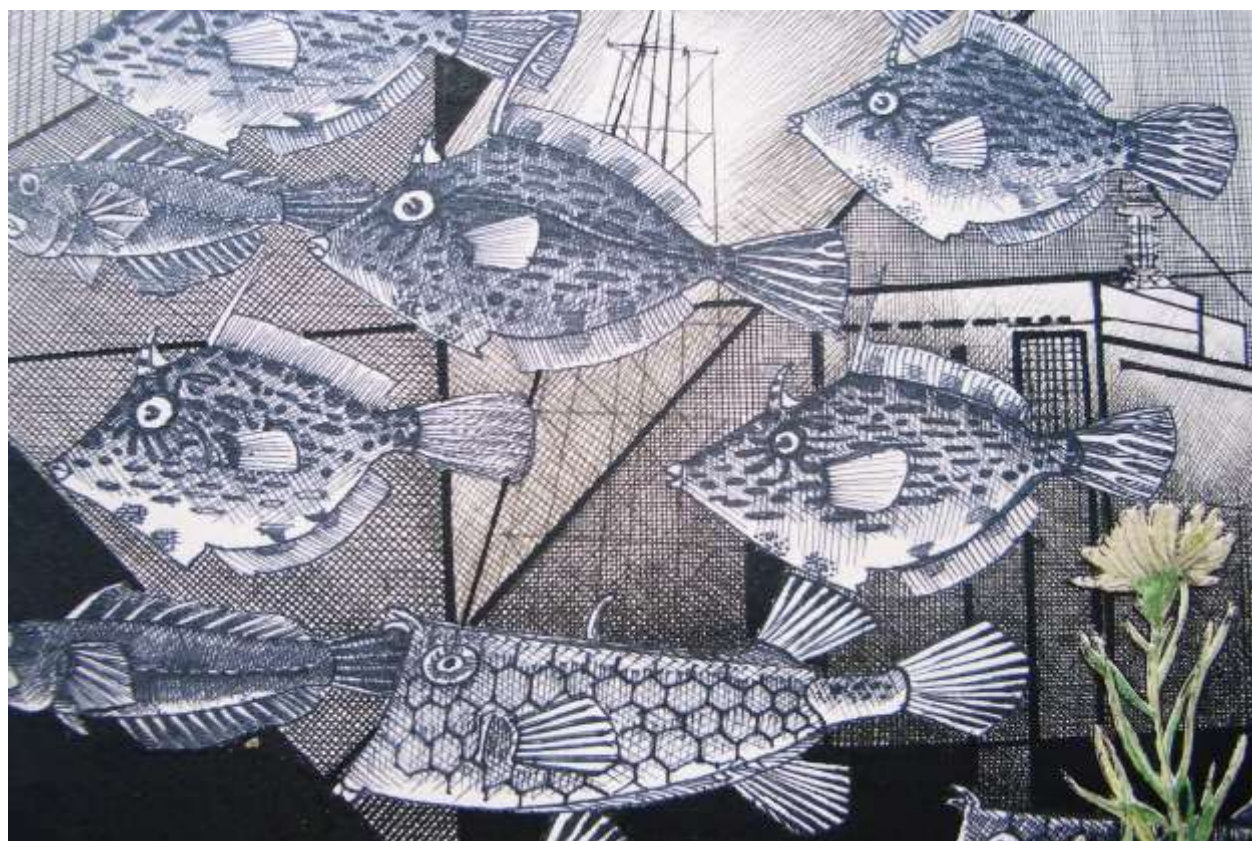
## 子どもたちにつなぐ天草の海山

テーマ 『 天草環境会議たった30年、されど30年の重み 』

日時 2013年7月13日(土) 13:00~17:30  
14日(日) 8:30~12:30

場所 苓北町コミュニティセンター  
熊本県天草郡苓北町志岐444-1

参加費 1,000円



絵:中村清一郎

主催 天草環境会議実行委員会「はえん風」  
共催 熊本学園大学水俣学研究センター  
企画協力 一橋大学自然資源経済論プロジェクト

第一日目 7月13日 13:00~17:30

開 会

開会挨拶

水俣学研究センター 花田 昌宣  
天草環境会議実行委員会 寺崎 幸男

### 第1部 記念講演

「天草環境会議30周年によせて」 日本環境会議 淡路 剛久

### 第2部 天草環境会議30年の歴史

- 1 妻と子供と3人で始めた苓北火電建設  
反対運動 苓北火電に反対する連絡会  
事務局長 立石 正伸
- 2 苓北火電・公有水面埋め立て免許処分  
取消請求訴訟 苓北火電訴訟弁護団 津留 雅昭  
田尻 和子
- 3 天草環境会議のそれぞれの歴史
  - 誰にも負けないみかん作り農家へ みかん農家 松本 繁喜
  - 羊角湾干拓事業中止とその後始末 天草の自然を護る会

### 第3部 各地からの報告

- 1 福島その後 日本環境会議 尾崎 寛直
- 2 水俣…解決策はあるのか 水俣学研究センター 花田 昌宣
- 3 参加者の中から

**星空野外パーティー**

**時間 18:30~**

**場所 町民の会事務所**

**会費 3000円**

第二日目 7月14日 8:30~12:30

第4部 現地検証 苓北町コミュニティセンター 8:20集合

私たちが、第1回の会議から主張してきた問題点について、30回目を迎えたなかでひとつひとつ検証することで、さらに苓北火電の問題を掘り下げ、主張の正しさを立証する。主なテーマは次のとおりとする。

- 電源立地が住民の生活にもたらすもの
- 大気汚染や海洋汚染による自然界の変化
- 交付金の使途と何が変わったのか(町がよくなったのか)

|   |         |   |
|---|---------|---|
| 1 | 苓北町年柄   | 苓北火電の概要と立地地域の現状<br>灰捨て場の現状と新たな捨て場建設へ<br>送電線・鉄塔の地域住民への影響 |
| 2 | 苓北町上津深江 | 電源交付金により漁協が始めたあわび養殖施設の現状<br>石炭灰を使用した住宅地開発の問題            |

第5部 現地検証総括集会

時間 11:00~12:30

場所 苓北町コミュニティセンター

1 苓北火電の影響についての現地検証の意見交換

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 苓北火電の現状と地域住民に与える影響</li> <li>② 大気汚染や温排水等の海洋汚染が自然界に与える影</li> <li>③ 電源交付金の使われ方や町の財政について</li> <li>④ 石炭灰の処理問題</li> <li>⑤ その他</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>天草の自然を護る会</li> <li>一橋大学</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>塚田 達</li> <li>荒木 哲郎</li> <li>松本 繁喜</li> <li>田嶋 正</li> <li>野口 昭信</li> <li>山下 英俊</li> </ul> |
|---|---|--|

2 天草の自然の現状とあるべき姿について 天草の自然を護る会 吉崎 和美

3 これからの天草環境会議のありようについて 天草の自然を護る会 野口 昭信

4 閉会